

令和3年8月4日

阿賀野市議会議長 市川英敏様

社会厚生常任委員会委員長 大滝 勝

所管事務調査報告書

本委員会は、令和3年第3回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 子育て支援センターにこにこの運営状況について
- 2 調査期日 令和3年8月4日(水) 午前10時00分
- 3 調査経過

令和3年8月4日、山崎民生部長、塚野社会福祉課長、羽田生涯学習課長並びに担当職員の出席を求めて本委員会を開催し、調査事項について担当課長から説明を受け、現地調査および質疑・意見集約を行いました。

4 調査結果

子育て支援センター「にこにこ」は、平成27年、あがの市民病院の移転した跡地利用として、病児保育室、子育て支援施設、適応指導教室等の集約施設を整備することとなり、平成28年4月に開設されました。

開設日時は、水曜日から日曜日の午前9時から午後4時で、対象者は主に就学前の子どもと祖父母を含む保護者です。利用料金は無料となっています。

利用者数については下表のとおり。

利用者数				
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
12,366人	15,905人	17,928人	17,852人	11,333人
対前年度	128.6%	112.7%	99.6%	63.5%

年間2万人の利用を目標として順調に推移していましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり1万1,000人台にとどまりました。今年度については、感染予防対策を徹底し利用者は徐々に増加していますが、県内でも感染拡大が見られるため、さらに注意を図りながら今後の活動や受入れ等の対応が必要と

のことです。

現地では、部屋ごとに目的や利用状況、工夫している点などについて説明を受けました。新しい建物ではありませんが、施設内はとても明るく広く、清潔に保たれています。各部屋には様々な工夫がされていて、幅広い年齢に対応しています。安全面にもとても配慮され、安心して子どもを遊ばせられる施設であると感じました。また、感染症対策として、トイレとおむつ交換室の自動水栓化、入館時の名簿記入、空気清浄機や二酸化炭素測定器の設置、それぞれの部屋の面積に応じた利用人数の目安の設定などがされています。

にこにこでは、育児相談やイベントの開催、子どもたちと保護者が楽しく遊び交流できる場を提供するほか、育児に関する冊子や広報誌の発行も行っています。これは、にこにこを利用している保護者と協力して作り上げているもので、去年は、子どもといっしょに利用できる市内の飲食店や保育園の情報を利用者が取材してまとめた「あがのまま」を発行しました。過去には「パパ手帳」「孫育て手帳」を発行しています。

利用者からは、「阿賀野市に引越したばかりで、初めての子育て、果たしてやっていけるのか不安もありましたが、心配事があれば相談でき孤独にならず、ママも子どもも安心して過ごせる『にこにこ』という場所があって本当によかったです。」「初めての子育ては、想像していたより大変でした。悩みを家族や友人に相談したり『にこにこ』で開催される様々なイベントに参加して気分転換をしたり、今は楽しく子育てができています。子育ては、悩みや辛さを一人で抱え込まず、周囲の人に頼ることが大切だと痛感しました。」等の声が寄せられています。

現在の核家族の状況下で、この阿賀野市で子どもを産み育てていくために、この施設の重要性を感じました。

以上、社会厚生常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。